

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 1 月 4 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000022		
法人名	社会福祉法人 誠心福社会		
事業所名	誠心園グループホーム		
所在地	広島県江田島市江田島町宮ノ原三丁目18番66号 (電話) 0823-42-6177		
自己評価作成日	平成24年10月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年10月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

周辺はみかん畑や季節ごとの花など楽しめる山と海に囲まれ、温暖な気候の中で、施設と家族との中間的な居場所として、お一人お一人の今までの人生を尊重しながら、安心して家族のように暮らす家を心がけています。また、利用者様との関わりの時間を多く持つために、食事は外部委託を導入しています。【喜んで食べていただく】事をモットーに、季節の食材をふんだんに使い、彩りも良く調理法も多様に提供できています。ブリの解体ショーやピザ作りなど、板前さんによるパフオーマンスショーが行われ利用者様のみならず、職員も楽しませてもらってきたの味を堪能しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

誠心園グループホーム（以下、ホーム）は、江田島市の北部に位置し、静かな環境の中にあります。建物は、広い敷地の中で、コテージ風の木造平屋建てであり、ホーム玄関までの長い並木道に広葉樹が植えられ、気持ちや和らぐ雰囲気があります。また、建物の中にも中庭があり、共有空間から入居者の居室入口が見渡せ、室内も明るく開放的な構造です。運営では、入居者、家族に環境、接遇、食事についてアンケートを実施し、その結果を踏まえて、サービスの質の改善に繋げておられます。同じ敷地に、法人が運営する入所施設、通所介護事業所、訪問介護事業所があり、他の事業所と連携を図りながら入居者の暮らしの支援を行われています。さらに、母体法人では江田島市人権擁護委員会の協力を得て、法律・人権相談会を開催し、地域の貢献に努めておられます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者の尊厳と自立を守り、地域の中で安心して家庭的な生活が送れるようスタッフ全員で作った理念に向けて、日々取り組む努力をしている。	開設時に、ホーム独自の理念を職員全員で検討し作成されています。対応が難しい入居者への関わりなどには、常に理念を振り返り、職員全体で問題解決に向けて取り組まれています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭り・文化祭に参加したり、保育園児やご近所さんを招待して餅つきをして地域との交流を図っている。また、緊急時には協力要請ができるよう運営推進会議に地域の消防団や近隣の人にも参加していただいている。	ホームは町内会に加入されています。地域主催の運動会に入居者が参加し、綱引きなど出られる種目に出場されています。また、ホームの納涼祭や餅つき大会に、地域住民を招待し入居者と交流が図られています。ボランティアの受け入れも積極的に行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	隣接する特養と一緒に開催する行事等に、地域の方や民生委員にも参加していただき一緒に楽しんでいただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	行政担当者・地域包括支援センター・地区役員・家族の方に参加していただき、利用状況や活動内容などを報告して意見や助言をいただきサービス向上に努めている。	会議を年6回開催し、市役所、地域包括支援センター、地区会長、民生委員・児童委員、消防分団、地域住民、入居者、家族など多彩なメンバーで構成されています。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業運営をする上で判断に困ったことや疑問点があった時など市の担当者に連絡を取り、必要に応じて指導をいただいている。	介護保険法改正に伴い、市役所担当者とは綿密に連絡を取り合い相談や助言を受けておられます。また、認知症高齢者の成年後見人の選任などについても、行政と連携を図っておられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアル等により職員研修を行っている。法人全体で身体拘束廃止委員会を立ち上げ、施設内研修を行っている。</p>	<p>日中は施錠されていません。法人全体で年1・2回、身体拘束をしないケアについて研修を実施し職員への理解を深めておられます。また、事例検討やマニュアルの見直しなども行っておられます。帰宅願望の強い入居者には、職員と一緒にホーム周辺を散歩するなど、安全面に配慮しつつ自由な暮らしができるよう支援されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止法に関するマニュアル等により職員研修を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>行政・地域包括支援センター、社会福祉協議会等の資料により職員研修を行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>パンフレットを配布したり、事前見学時に不安や疑問点等をうかがい、十分な説明を行い理解・納得をしていただいている。解約または改定等の時も同じく理解・納得していただけるよう説明をしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者との関わりの中で、本音や思いを受け止め反映できるように心がけている。家族間においては、話しやすい雰囲気心がけたアンケート調査を行っている。</p>	<p>入居者、家族それぞれに環境や職員の接遇、サービス内容についてのアンケートを実施し、運営の改善に繋げておられます。アンケート結果をもとに職員全体で改善方法を話し合い、出された意見や要望などに対して入居者、家族に向けて報告会も行われる予定です。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日2回のミーティングや、月1回のユニット会議を行って意見や提案を出し全員で検討している。</p>	<p>ユニットごとの職員ノートに気づきや提案などを記載し、全体で情報共有されています。毎日のミーティングやユニット会議で、改善方法などについて話し合われています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>本部の人事担当者が、個別面談を行い、職員の思いや不安などを聞いたり、指導を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>必要とする研修の予定により、内部研修を行っている。外部研修においては、スタッフの人員を確保しながらできるだけ参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修や勉強会等に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上につなげている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>家族や前のケアマネージャーからの情報を参考にしたり。利用者の想いや行動や訴え等に注意しながら本人の安心を確保できる関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思いや家庭の事情等を十分にかがいがいながら意見や要望をサービス提供に活かせるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>聞き取りを含めた話し合いにより、必要としている支援の方向性を見極め、他のサービスも視野においた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者から多くの事を学び、尊敬する気持ちを持ち、共に楽しんだり和やかに生活できるような環境作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族と交流できる行事をなるべく多く計画したり、家族が訪問時部屋で一緒に過ごすための環境を整えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望によりと知人や家族と帰宅・外出をしていただいている。一緒に買い物に行く時などは、なるべく馴染みの商店なども利用している。</p>	<p>行きつけの美容院を利用する入居者がおられます。家族の協力で、馴染みのある場所や思い出の場所などへ出かけられています。家族や友人がホームに気軽に訪ねて来れるよう、コミュニケーションを図ることを大切にされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者間の関係や状態等に十分配慮しながら席を考えたり、一緒にできることを計画したり、家庭のような関係が築けるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も可能な限り、家族の相談にのり継続的に関わりを持つように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々、共に生活していく中で、一人ひとりの本心や希望・意向など把握でき、またその思いに寄り添い支援していけるよう努めている。	法人独自のアセスメントシートを活用し、入居者一人ひとりの思いや暮らし方を把握されています。ホームでは、入居者のこれまでの趣味や習慣を継続できるよう、生活の中に取り入れる支援に努めておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に、情報収集(家族やケアマネ)を行い生活歴や思いを把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの状況を把握し、情報を共有するために記録をきちんとしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族・スタッフの意見をまとめて計画を作成、必要に応じてカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的にモニタリングを行い計画に反映させている。</p>	<p>ユニットごとにケアマネジャーを中心に、本人、家族、職員の意見をまとめた介護計画が作成されています。職員が細かく記入したケース記録を参考に、現状に即した計画が作成されています。また、必要に応じて専門職の意見も取り入れ、6か月に1回見直しされています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>状態変化に応じた日々の個別記録の記入を行い、全職員が何時でも閲覧し意見反映できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、本人や家族の状況等に合わせ、意向を聞きながら対応策を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の実施、保育園児を招いての餅つき、ボランティアの方による絵手紙教室などをしていただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診や通院は、本人・家族の希望や状況に応じて対応している。また、かかりつけ医との連携も密にしている。</p>	<p>かかりつけ医への受診は、家族や職員が支援されています。協力医療機関の医師や歯科医師の往診が週1回あり、定期的に健康チェックをされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師は配置していないが、必要に応じて隣接する特養の看護師と連絡・相談し連携を取り、健康管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはスタッフはなるべく顔を見て、できる支援をしている。また、病院や家族と連絡を取り、回復状況など退院に向けた話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時より、ある程度の意思確認はしている。重度化した時は、家族・主治医と話し合いを行い、方針を決めている。隣接している特養に転籍したり、自宅近くの病院に入院して終末期を迎えた例もある。</p>	<p>ホームで看取りを行った経験がありません。本人や家族の意向に沿って、最期まで支援する方針を持たれています。今後に向けて、よりチームで取り組めるよう看護師の配置を予定されています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故の発生等緊急時の対応マニュアル等により研修を行っているが、定期的な訓練は行っていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の他に事業所独自で訓練を実施している。運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。この度、市が計画した地震により津波災害の避難訓練にも参加した。</p>	<p>年3回、消防署立ち会いのもと行われる訓練には、法人が運営する施設等と合同で実施されています。津波を想定した訓練では、入居者が手作りした頭巾を身に付け、入居者・職員全員が高台にある施設への避難も行われています。ホームでは、いざという時に備えて、スプリンクラーが設置されるまで毎月訓練を実施されていました。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の関わりの中で、人生の先輩として尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや態度に気をつけている。また、勉強会なども行っている。	職員は「やさしい言葉かけ」を常に心がけておられます。入居者の性格や習慣をしっかりと把握し、配慮しなければならないことを考えながら、本人主体の支援に努めておられます。トイレへのさりげない誘導にも配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃から利用者と過ごす時間を多く持つようして、会話の内容や表情から、思いや希望をくみ取ったり、ゆっくり話せるような雰囲気作りを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調や個性に合わせて、個別性のある支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	特に希望がない場合は、訪問理美容を利用していただく。更衣時は季節に合った装いができるよう声かけしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	皆さんの要望により朝食のパン食の回数を増やしたり、麺類の日を増やしたり、時にはお好み焼きやハンバーガーなどの出前にしたりと楽しんでいただいています。配膳・後片付け等自主的に手伝っていただいています。	食事は、法人本部の厨房で委託業者が調理したものをホームで盛り付けし提供されています。入居者の状態によっては、食事の形態を工夫し、食べる意欲にも繋げておられます。ご飯と味噌汁は職員が調理されています。時には、出前を取ったり、外食に出かけたりして食事が楽しみと感ぜられるよう支援されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	スタッフ全員で食事量・水分量に配慮しながら，少食の方や食事制限のある方などいろいろな工夫で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の口腔ケアを実施している。自分でできるところはしていただき後は介助している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排便の時間や習慣を把握し、トイレ誘導することで、トイレでの排泄を促している。	各居室にトイレが設置され，排泄チェックリストや本人の様子を見ながら，さりげない声かけで自室へトイレ誘導されています。また，便秘症の入居者には，食材にオリゴ糖を混ぜたりセンナ茶を使用するなどし，一人ひとりの状態に合わせてながら自然排泄できるよう取り組まれています。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をしっかり摂っていただいたり，食生活や運動なども工夫している。排便チェックも記録し、状況を把握している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	身体レベルや希望により日程を決めているが、本人の思いや状態変化もあるので、できるだけ曜日にとらわれず入浴していただく場合もある。	週3回午後入浴を基本とされています。脱衣所には空調が完備され，浴室との温度差がないよう配慮されています。檜素材の浴槽に入浴剤を入れるなど，温泉気分を味わいながらゆっくりと入浴を楽しんでもらうよう工夫されています。一人ひとりの希望や思いに合わせて，入る順番を日ごとで変えるなど，臨機応変に対応されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの体調や生活のリズムを把握しながら、ゆっくりと休息がとれるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。薬剤情報は個人のファイルに綴っている。症状に変化があれば主治医に報告し、連携をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	得意なことや、好きなこと、できることで力を発揮していただき、感謝の気持ちを伝えることにより、誰かのお役にたてる喜びを感じていただけるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に屋外散歩や買い物、ドライブに出かけている。また、季節のお花見や食事会などにも出かけている。	天気の良い日に、ホーム周辺を散歩されています。また、友人と一緒にドライブがてら自宅に立ち寄ったり、職員とスーパーマーケットへ買い物に出かけられたりする入居者もおられます。さらに、季節や希望が出た時に行事を企画し、入居者は外出を楽しみにされています。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能で所持を希望される方には、助言しながら使っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	必要に応じて、家族や知人に電話をしたり、いただいた贈り物のお礼状を出すお手伝いをしている。携帯電話を所持し家族と連絡をしている方もいる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	天井高で窓も多く明るく開放的。玄関やホールには利用者の作品を展示したり。季節のお花を活けたりして、居心地良く生活できるよう工夫をしている。	ユニットごとの玄関ホールに、入居者の手作りの作品や生け花が飾られています。ホームは、地中熱利用換気「ジオパワーシステム」が整備され、冷暖房の使用量を抑制でき、24時間計画換気や空気清浄効果もあります。畳敷きの談話室では、入居者と家族、友人が交流する場として利用したり、遠方に住む家族が泊まられたりすることもあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関フロアのロッキングチェアやホール内にはソファや椅子を置いたり、畳の間など思い思いに過ごせるような工夫をしている。また気の合った方同士でそれぞれの居室を往来している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅から使い慣れた家具を持参され、家族の写真や植物を置いて心地良く過ごしていただけるようにしている。冷蔵庫を持参したり、テレビを持参して好みの番組を自宅で楽しまれている方もいる。	居室は、トイレ、収納タンス、洗面台が備え付けとなっています。入居者は、使い慣れたベッドや椅子などを持ち込まれています。また、ベッドなどの配置も考え、一人ひとり居心地良く過ごせるよう工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部はバリアフリーで安全に生活を送れるように、ゆったりした居室内には、洗面台・トイレが設置してありプライバシーが保てるようにしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者の尊厳と自立を守り、地域の中で安心して家庭的な生活が送れるようスタッフ全員で作った理念に向けて、日々取り組む努力をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭り・文化祭に参加したり、保育園児やご近所さんを招待して餅つきをして地域との交流を図っている。また、緊急時には協力要請ができるよう運営推進会議に地域の消防団や近隣の人にも参加していただいている。。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	隣接する特養と一緒に開催する行事等に、地域の方や民生委員にも参加をいただき一緒に楽しんでいただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	行政担当者・地域包括支援センター・地区役員・家族の方に参加していただき、利用状況や活動内容などを報告して意見や助言をいただきサービス向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業運営をする上で判断に困ったことや疑問点があった時など市の担当者に連絡を取り、必要に応じて指導をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアル等により職員研修を行っている。法人全体で身体拘束廃止委員会を立ち上げ、施設内研修を行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止法に関するマニュアル等により職員研修を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>行政・地域包括支援センター、社会福祉協議会等の資料により職員研修を行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>パンフレットを配布したり、事前見学时に不安や疑問点等をうかがい、十分な説明を行い理解・納得をしていただいている。解約または改定等の時も同じく理解・納得していただけるよう説明をしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者との関わりの中で、本音や思いを受け止め反映できるように心がけている。家族間においては、話しやすい雰囲気心がけたアンケート調査を行っている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日2回のミーティングや、月1回のユニット会議を行って意見や提案を出し全員で検討している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>本部の人事担当者が、個別面談を行い、職員の思いや不安などを聞いたり、指導を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>必要とする研修の予定により、内部研修を行っている。外部研修においては、スタッフの人員を確保しながらできるだけ参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修や勉強会等に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上につなげている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>家族や前のケアマネージャーからの情報を参考にしたり。利用者の想いや行動や訴え等に注意しながら本人の安心を確保できる関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居に至るまでの、家族の思いや家庭の事情等を十分にうかがいながら意見や要望をサービス提供に活かせるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>聞き取りを含めた話し合いにより、必要としている支援の方向性を見極め、他のサービスも視野においた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者から多くの事を学び、尊敬する気持ちを持ち、共に楽しんだり和やかに生活できるような環境作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族と交流できる行事をなるべく多く計画したり、家族が訪問時部屋で一緒に過ごすための環境を整えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望によりと知人や家族と帰宅・外出をしていただいている。一緒に買い物に行く時などは、なるべく馴染みの商店なども利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者間関係や状態等に十分配慮しながら席を考えたり、一緒にできることを計画したり、家庭のような関係が築けるよう支援している		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退去後も可能な限り、家族の相談にのり継続的に関わりを持つように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々、共に生活していく中で、一人ひとりの本心や希望・意向など把握でき、またその思いに寄り添い支援していけるよう努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	入居前に、情報収集（家族やケアマネ）を行い生活歴や思いを把握するように努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの状況を把握し、情報を共有するために記録をきちんとしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族・スタッフの意見をまとめて計画を作成、必要に応じてカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的なモニタリングを行い計画に反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>状態変化に応じた日々の個別記録の記入を行い、全職員が何時でも閲覧し意見反映できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>隣接している特養の趣味活動に参加したり、本人や家族の状況等に合わせ、意向を聞きながら対応策を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の実施、保育園児を招いての餅つき、ボランティアの方による絵手紙教室などをしていただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診や通院は、本人・家族の希望や状況に応じて対応している。また、かかりつけ医との連携も密にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師は配置していないが、必要に応じて隣接する特養の看護師と連絡・相談し連携を取り、健康管理に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはスタッフはなるべく顔を見て、できる支援をしている。また、病院や家族と連絡を取り、回復状況など退院に向けた話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時より、ある程度意思確認はしている。重度化した時は、家族・主治医と話し合いを行い、方針を決めている。隣接している特養に転籍したり、自宅近くの病院に入院して終末期を迎えた例もある。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事故の発生等緊急時の対応マニュアル等により研修を行っているが、定期的な訓練は行っていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署立会いの避難訓練の他に事業所独自で訓練を実施している。運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。この度、市が計画した地震により津波災害の避難訓練にも参加した。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の関わりの中で、人生の先輩として尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや態度に気をつけている。また、勉強会なども行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃から利用者と過ごす時間を多く持てるようにして、会話の内容や表情から、思いや希望をくみ取ったり、ゆっくり話せるような雰囲気作りを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調や個性に合わせて、個別性のある支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	特に希望がない場合は、訪問理美容を利用していただく。更衣時は季節に合った装いができるよう声かけしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	皆さんの要望により朝食のパン食の回数を増やしたり、麺類の日を増やしたり、時にはお好み焼きやハンバーガーなどの出前にしたりと楽しんでいただいています。配膳・後片付け等自主的に手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>スタッフ全員で食事量・水分量に配慮しながら，少食の方や食事制限のある方などいろいろな工夫で支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを実施している。自分で行えるところはしていただき後は介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排便の時間や習慣を把握し、トイレ誘導することで、トイレでの排泄を促している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分をしっかり摂っていただいたり，食生活や運動なども工夫している。排便チェックも記録し、状況を把握している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>身体レベルや希望により日程を決めているが，本人の思いや状態変化もあるので，できるだけ曜日にとらわれず入浴していただく場合もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの体調や生活のリズムを把握しながら、ゆっくと休息がとれるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。薬剤情報は個人のファイルに綴っている。症状に変化があれば主治医に報告し、連携をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	得意なことや、好きなこと、できることで力を発揮していただき、感謝の気持ちを伝えることにより、誰かのお役にたてる喜びを感じていただけるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に屋外散歩や買い物、ドライブに出かけている。また、季節のお花見や食事会などにも出かけている。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能で所持を希望される方には、助言しながら使っていただいている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>必要に応じて、家族や知人に電話をしたり、いただいた贈り物のお礼状を出すお手伝いをしている。携帯電話を所持し家族と連絡をしている方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>天井高で窓も多く明るく開放的。玄関やホールには利用者の作品を展示したり。季節のお花を活けたりして、居心地良く生活できるよう工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関フロアのロッキングチェアやホール内にはソファや椅子を置いたり、畳の間など思い思いに過ごせるような工夫をしている。また気の合った方同士でそれぞれの居室を行き来している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅から使い慣れた家具を持参され、家族の写真や植物を置いて心地良く過ごしていただけるようにしている。冷蔵庫を持参したり、テレビを持参して好みの番組を自室で楽しまれている方もいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーで安全に生活を送れるように、ゆったりした居室には、洗面台・トイレが設置してありプライバシーが保てるようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 誠心園グループホーム

作成日 平成 25 年 2 月 13 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	火災訓練は, 昼夜を想定して行ってきたが, 地震, 津波等の防災訓練は, 夜間想定をしたものはできていない。近隣住民の協力を得る事に遠慮があります。	今年度中に夜間を想定した防災訓練を行い, 万一の時に備えたい。	近隣住民や消防団の人々の協力を得て, 訓練を行う。家族にも見学してもらい, 改善点を考えていく。	2 か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。